

日立メタル・リサイクリング・コンプレックス計画等の進捗について

日鉱金属株式会社（本店：東京都港区虎ノ門二丁目 社長：岡田昌徳 以下「当社」）および当社関連会社の日鉱環境株式会社（本店：茨城県日立市宮田町 社長：坂本和平 以下「日鉱環境」）は、かねてから環境リサイクル事業の基盤強化等を目的とする「日立メタル・リサイクリング・コンプレックス計画」（以下「HMC計画」）を推進してまいりましたが、このたびHMC計画における第1期工事が当初予定どおりに竣工いたしました。また、第2期および第3期工事も計画どおりに進捗しております。

また、HMC工場の立地する日立地区において推進しております日立地区リニューアル計画については、技術開発センター新築（8月完成）および総合事務所の建設（平成21年4月完成予定）等を進めており、平成21年度末の完成予定に向けて進捗しております。

HMC計画の第1期工事において完成した設備は、日鉱環境の乾式プロセスにおいて処理されたリサイクル原料および日鉱製錬(株)佐賀製錬所の銅製錬工程中間生産物等から、アンチモン、ビスマス、錫、ニッケル等を回収する設備であります。設備完成後、8月から試験操業を開始しており、11月から本操業に移行する予定であります。なお、回収した各種金属は電子材料事業の原材料であることから、HMC工場は当社電子材料事業の重要な原料安定供給ソースとなります。

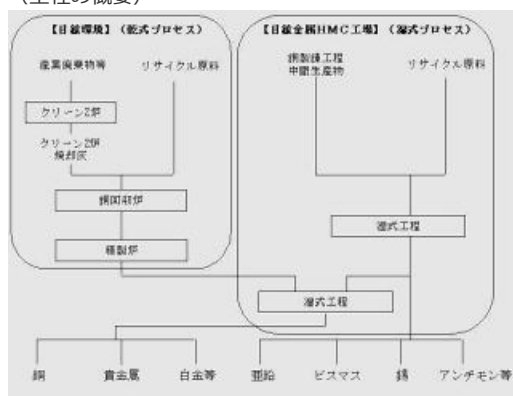
当社グループでは、HMC計画の実行により、環境リサイクル事業基盤の強化、佐賀製錬所の生産効率化および電子材料事業における原材料の安定確保を図ることを通じ、資源循環型社会の構築に一層貢献してまいります。

（ご参考 1.）HMC計画の概要

1. HMCのプロセス

当社がこれまで金属、環境およびリサイクルの各事業において培ってきた乾式プロセスと湿式プロセスを組み合わせ、多種の有価金属を回収するという独自のゼロ・エミッション型の複合製錬精製プロセスである。

（工程の概要）



2. 回収対象金属および生産予定量（年間）

金 500 kg、銀 50 t、白金 200 kg
 インジウム 6 t、アンチモン 150 t、ビスマス 200 t、ニッケル 500 t
 銅 6,000 t、亜鉛 700 t、錫 500 t

3. スケジュール

工期を以下の3期に分けて実施する。完成予定は、平成20年度末を目途とする。

1. 第1期工事（大雄院エリア：平成20年7月完成）
アンチモン、ビスマス、錫、ニッケル等製造設備および建屋、ユーティリティ
2. 第2期工事（大雄院エリア：完成予定平成20年12月末）
亜鉛、インジウム等製造設備および建屋、ユーティリティ
3. 第3期工事（芝内東エリア：完成予定平成20年度末）
銅、貴金属等製造設備



(7月に完成したHMC工場（第1期）建屋)

（ご参考2.）日立地区リニューアル計画の概要

創業100周年を迎えた日立地区において、新たな100年に向けた事業基盤の整備を行う計画。具体的には、日立地区各事業の効率的運営及び増強，研究開発機能の強化，更には構内インフラの整備等を目的として，建屋，設備等の撤去，建替え・配置換え，増強等を実施する。

1. エリア整備

日立地区を次のとおり3つのエリアに分け，各エリア内に建屋・設備等を集約し，それぞれの事業の効率的・機動的運営を図る。

- ・大雄院エリア 環境リサイクル事業エリア
 - ・芝内西エリア 銅電解精製事業エリア
 - ・白銀／芝内東エリア ハイテク／技術開発エリア
- 銅箔・マキナスR等回路関連材料事業，精密めっき事業、
銅・貴金属等精製事業，技術開発センター

2. 設備等の増設による機能強化

- ・環境リサイクル事業におけるHMC計画の開始
- ・精密めっき事業におけるめっきラインの増設
- ・技術開発センターにおける各種研究エリアの拡張

3. 構内インフラの整備

エリア整備にあたっては，作業環境の改善・工場内の美化を含め，今後の設備増強に対応した構内インフラの整備を行う。